

本校は、令和3年度から県教育委員会が実施する「オンリーワン・ハイスクール」事業のグローバル・ハイスクール(Ⅱ類)に指定されています。

### 【オンリーワン・ハイスクールとは】

多様なニーズを持つ生徒が在籍する普通科の改革を推進するため、改革に取り組む学校を県教育委員会が指定するもの。

取組テーマにより、以下の区分で指定される。

- イノベーション・ハイスクール:文系・理系をバランスよく学ぶリベラルアーツの推進
- アカデミック・ハイスクール:SDGs等学際的・領域横断的な新たな社会課題の探究
- グローバル・ハイスクール:地域協働による地域社会の課題解決に向けた探究
- フューチャー・ハイスクール:過疎地域等の小規模校の地域に開かれた学校づくり

なお、「Ⅰ類」は公募により有識者会議の議論を経て実施校を決定し、「Ⅱ類」は県教育委員会の重点取組をテーマとして示し、実施校を指定している。

### 【本校がオンリーワン・ハイスクールとして目指す学校像】

東伊豆・田方地域の教育力を活かして生徒を育て、生徒の活力を地域の活性化に生かすオンリーワンハイスクールとして、地元自治体や企業等と連携した探究活動や教科横断的な学習等の多彩な学習経験を通して、生徒の自己肯定感・有用感を高め、地域社会に積極的に参画し貢献する人材の育成を目指す。

### 【3年間の事業計画・目標】

#### <令和3年度取組>

令和4年度の新教育課程実施に向け、「総合的な探究の時間」での1,2年生の地域課題探究(「熱高ラボ」「熱海ラボ」)及び観光ビジネスコース、福祉コースにおける地域実習的活動(「商品開発」「高校生ホテル」)等のこれまでの取組を、組織として持続可能な方式へ確立することを目指す。さらに、新課程3年生で各教科の特性を生かした探究科目の開設を念頭に、教科間連携等により生徒の意欲を喚起する多彩な学習活動の展開を模索した。

#### <令和4年度の計画>

令和4年度新教育課程の円滑な実施:総合的な探究の時間を1年次で2単位に拡充。また、各教科の特性を生かした3年生の学校設定教科・科目「キャリア・マネジメント」開講に向け、教科学習における地域連携を積極的に実施する。

#### <令和5年度の計画>

「総合的な探究の時間」の拡充を2年次まで進め、次年度に開講する「キャリア・マネジメント」の実施準備を整える。学年の枠を越えた学び合いや学習成果の伝承といった繋がりを生み出すとともに、学習活動における校内・校外の区別を弱め、地域の人材、資源、場所・施設を効果的に活用できる体制を構築する。

## 【主な取組】

<<福祉コース「地域社会資源マップ作成」>>



熱海市役所の長寿介護課を訪問したり、社会福祉協議会やいきいきサロンのスタッフに高齢者の移動のニーズに関するインタビューをZOOMで行ったりして作成したアンケート用紙を活用して熱海市在住の人（高齢者を中心に）に街頭インタビュー調査を行った。

<<1年生総合探究「熱高ラボ」>>



自らの関心と地域の課題を結びつけながら、調べ学習やフィールドワークを通して地域を知ることがを目的に、2年次に地域で活躍する人材（熱海の地元企業の方々）と協働して地域課題の解決に取り組むための基礎固めとして、大テーマとして「街」「防災」「土産」「海」の4つから自分たちが調べたいテーマを決めて調べ学習を行うことで、テーマに関する課題とその解決策を見出し、発表することを到達目標とした。「防災」は令和3年の伊豆山土石流災害の発生を受けて生徒から提案したテーマで、代表グループは市役所、消防署、自治会にも取材し、ふじのくに地域大学コンソーシアムでオンライン発表も行った。



## 【実績報告】

<令和3年度>

生徒自身が知りたい・学びたいという興味・関心から始めることで、生徒はグループで協力し合い、動いて情報を集め、効果的な発表・表現を考えていた。調べ学習やフィールドワーク、実習等を通して地域の職業人や住民と交流することで、知らなかった地域や職業の魅力に気づき、自身の進路意識に繋げることができた。